小4 中学受験 算数 ポイント　名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

速さの基本

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

まとめ 速さの基本

速さ 標準

① 速さ・道のり・時間は、道のり ＝ 速さ × 時間　速さ ＝ 道のり ÷ 時間　時間 ＝ 道のり ÷ 速さ

② 時速・分速・秒速は、1時間(60分)・1分(60秒)に進む道のりで、単位をそろえてから計算する

③ 平均の速さ ＝ 全部の道のり ÷ 全部の時間(往復も、休けいをふくめるときも同じ)

例

(1) **1260 m の道のりを 18 分で歩いた人の速さは、分速何m? また、同じ速さで 2100 m 歩くと何分かかる?**

速さ ＝ 道のり ÷ 時間 なので 1260 ÷ 18 ＝ 70(分速 70 m)

時間 ＝ 道のり ÷ 速さ なので 2100 ÷ 70 ＝ 30(分)

道のり・速さ・時間のうち2つがわかれば、のこりの1つが求められる。式は「道のり ＝ 速さ × 時間」を1つ覚え、そこから2つの式をつくる

(2) **時速 54 km は、秒速何m?**

1 km ＝ 1000 m なので、1時間に進む道のりは 54 × 1000 ＝ 54000(m)

1時間 ＝ 3600 秒 なので 54000 ÷ 3600 ＝ 15

秒速 15 m

時速 → 分速は 1000 倍して 60 でわる。時速 → 秒速は 1000 倍して 3600 でわる。単位をそろえてから、速さをくらべたり、たしたりする

(3) **家から公園まで 1620 m の道を、行きは分速 60 m、帰りは分速 90 m で歩いた。往復の平均の速さは?**

行きの時間は 1620 ÷ 60 ＝ 27(分)、帰りの時間は 1620 ÷ 90 ＝ 18(分)

往復の道のりは 1620 × 2 ＝ 3240(m)、時間は 27 ＋ 18 ＝ 45(分)

平均の速さは 3240 ÷ 45 ＝ 72 で、分速 72 m

平均の速さは、全部の道のり ÷ 全部の時間。先に行きと帰りの時間をそれぞれ出してから合わせる

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら